

クロスロードゲーム

人数	時間	場所	用意するもの
3人～	60分～	屋内(講堂、集会場など)	消防署で準備

○クロスロードとは、正解がどちらとも言い切れない、災害時に非常に悩む問題（ジレンマ）について、あえて「YES」か「NO」で参加者が意思表示し、その後、それについて意見交換を行うことで、真剣かつゲーム感覚で気軽に行う事ができる訓練手法です。

○DIG（災害図上訓練）に比べて簡単で、地域住民同士で話し合うことで、地域での顔の見える関係づくりが図れ、隣近所で助け合う機運を高めることができる。

【訓練スケジュール（例）】

- ① 導入（概要説明、自己紹介等）
- ② クロスロードの実施
- ③ 防災に関する知識の普及等



【実施要領】

- ① グループ分け、自己紹介（アイスブレイク）、役割分担（進行役、書記、発表役）
⇒楽しみながら活発に意見交換ができる雰囲気作り
- ② 地震、風水害等の災害想定を伝える
⇒【地震】南海トラフ地震が発生し、市域内で最大震度7発生 など・・・
【風水害】台風の接近に伴う集中豪雨で河川が氾濫、土砂災害が発生 など・・・
「YES」か「NO」かの二者選択の問題カードを提示し意思を問うことで、訓練参加者の意見交換を行う

